

## 【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式ファイルのみ受付可能です。
- illustratorのバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。  
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
- 指定範囲内で各パーツを自由にデザイン・配置していただけますが、カットラインやデザインの余白のルールをお守りください。また、**外枠のカットラインの変更はできません**。
- スタンドのツメと差し込み口、ペン穴リングとその差し込み口は、**形状が固定です(拡大・縮小不可)**。  
テンプレート内「パーツ」レイヤーから、各パーツのパスをご利用ください。(使い方は2・3ページ目)
- スタンド差し込み口は、ペンスタンドとして安全にお使いいただくため、同形状のアイテム「アクリルスタンド」「アクリルジオラマ」の穴より**若干きつめのサイズになっております**ので、ご注意ください。
- **スタンドのツメと差し込み口は、それぞれ2箇所以上ご使用が必須です**。ツメの間隔はお客様の自由ですが、**差し込み口と同じ間隔になるように作成をお願いいたします**。
- 本体パーツと台座パーツには印刷が可能です。なお、ペン穴リングには印刷対応しておりません。
- 4ページ目に、各パーツの推奨サイズを三面図にて記載しております。ペンスタンドとして安全にご使用いただくためにも、必ずご覧いただいた上でデザイン・設計をお願いいたします。
- 白ベタは必ず白ベタレイヤーに配置し、「**K100%**」で作成してください。
- カットラインのパスは、外枠から5mm以上空け、各パーツのカットラインも3mm以上空けてご製作ください。  
また、**スタンドにしたいパーツは指定の「スタンドパーツ(ツメ)」のパスと繋がるようにご製作ください**。
- 各パーツのデザインは、印刷範囲のラインでクリッピングマスクをする等、**範囲内に必ずおさめてください**。

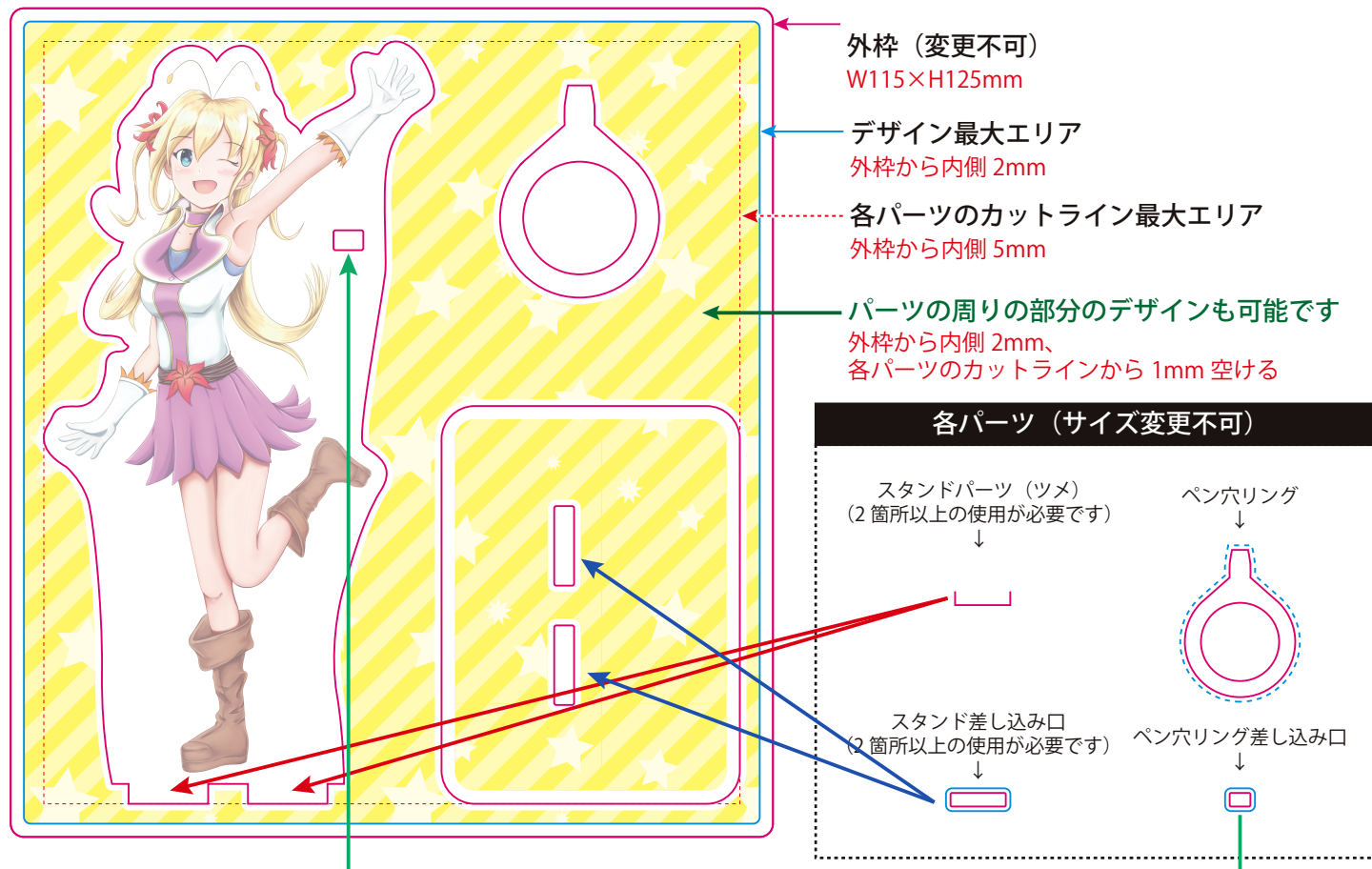
### Illustrator でのデータ制作

- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、必ず「画像の埋め込み」を行ってください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi(推奨は350dpi)**を推奨しております。  
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。  
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

### 著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。  
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせて頂きます。

# テンプレートデータの各項目について



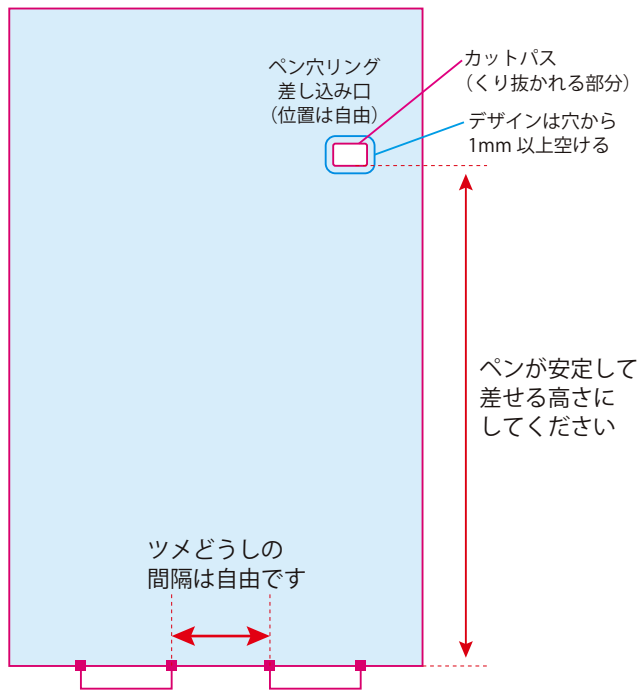
## カットパス作成上の注意点

- カットパスは必ずカットパス用レイヤーに作成してください。
- カットパスは一筆描きの、線が交差しない閉じた図形で作成してください。オープンパスはデータ不備となります。
- 「効果」メニューの「スタイライズ」での角丸は、カットに反映されません。カットパスはフィルタ等を使用せず実線のみで作成してください。(※複雑な切り抜きは不可能な場合があります。ご注文の前にお問い合わせ下さい。)
- パスは、できるだけアンカーポイント数と角の少ないなめらかな線をお願いいたします。

## 白ベタ作成上の注意点

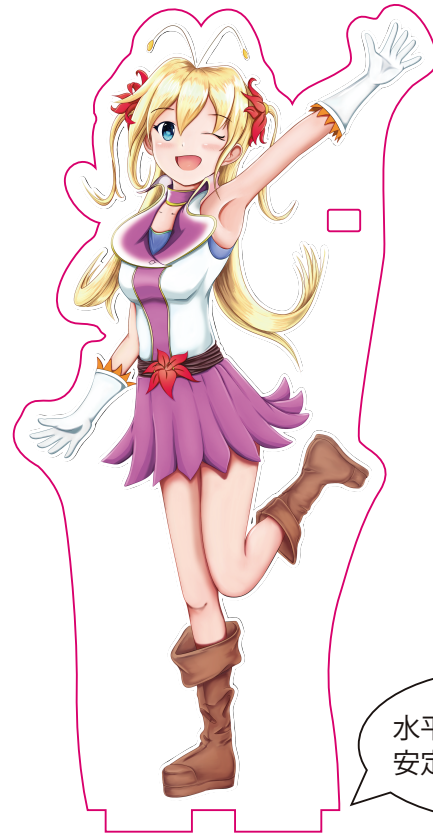
- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- ぼかし・グラデーションのような濃度差を表現することはできません。必ず濃度 100% での出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。

## ●スタンドパーツのデザイン方法



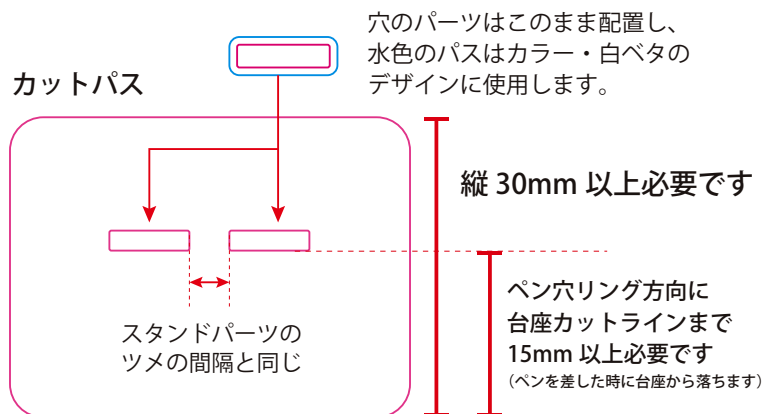
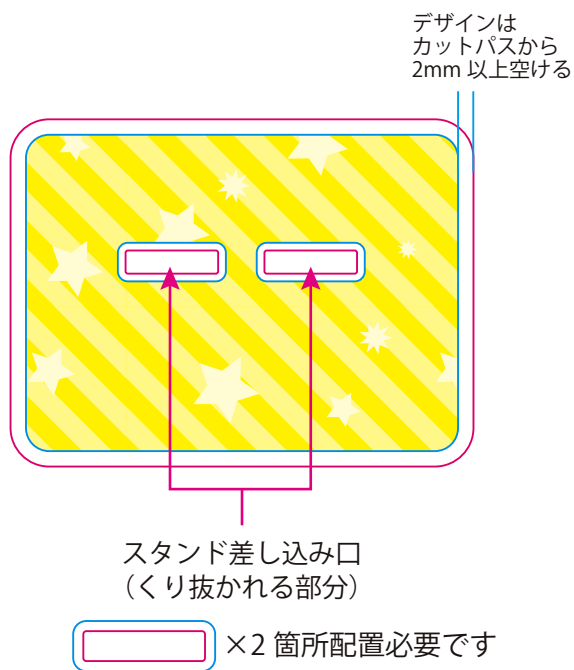
ご製作いただいたカットラインパスに、「スタンドパーツ (ツメ)」のパスの上部分が接するように配置し、カットラインと合体します。

※ツメは2箇所以上必須です。

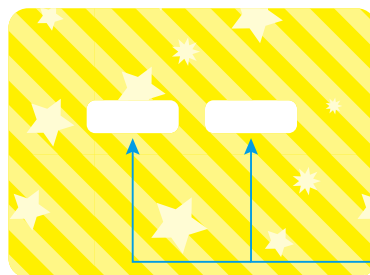


カットラインの高さや幅が足りない場合は、上記のようにスタンドパーツに完全に接するようにカットパスを調整してください。

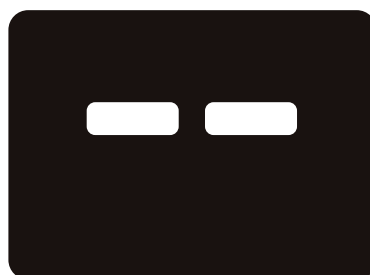
## ●台座のデザイン方法



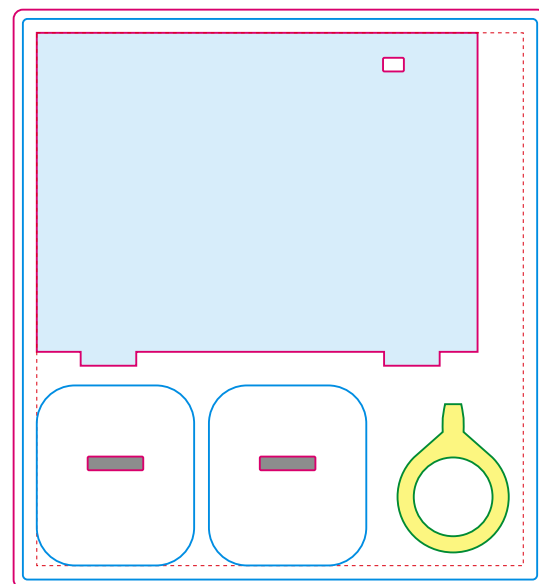
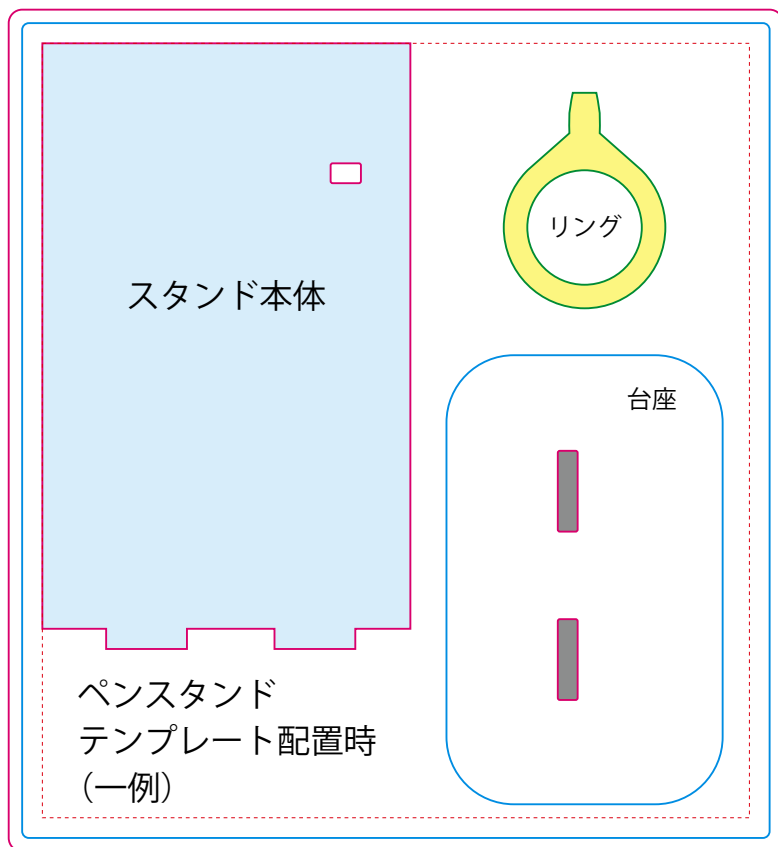
### カラー版



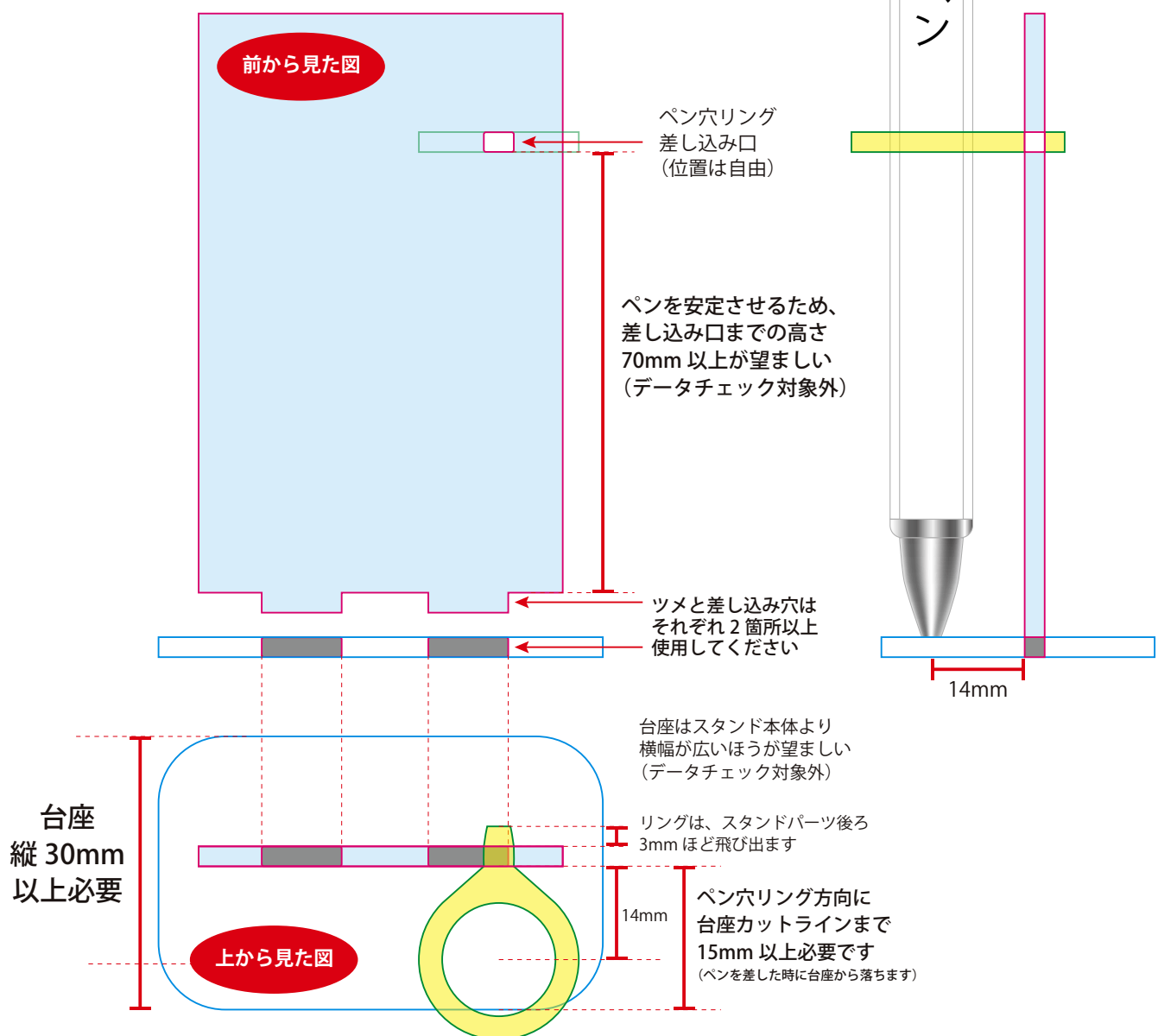
### 白ベタ



↑で配置したオブジェクトを、白ベタ用のパスの上に複製し、「中マド」で穴を開ける  
※必ず K100% のパスにしてください



デザイン次第では、本体横長や台座分割も OK です



横から見た図